

FM パネル D-15 テスト

2021/10/03

松尾 優

このソフトウェアは、FM パネル D-15 テストを行うソフトウェアです。

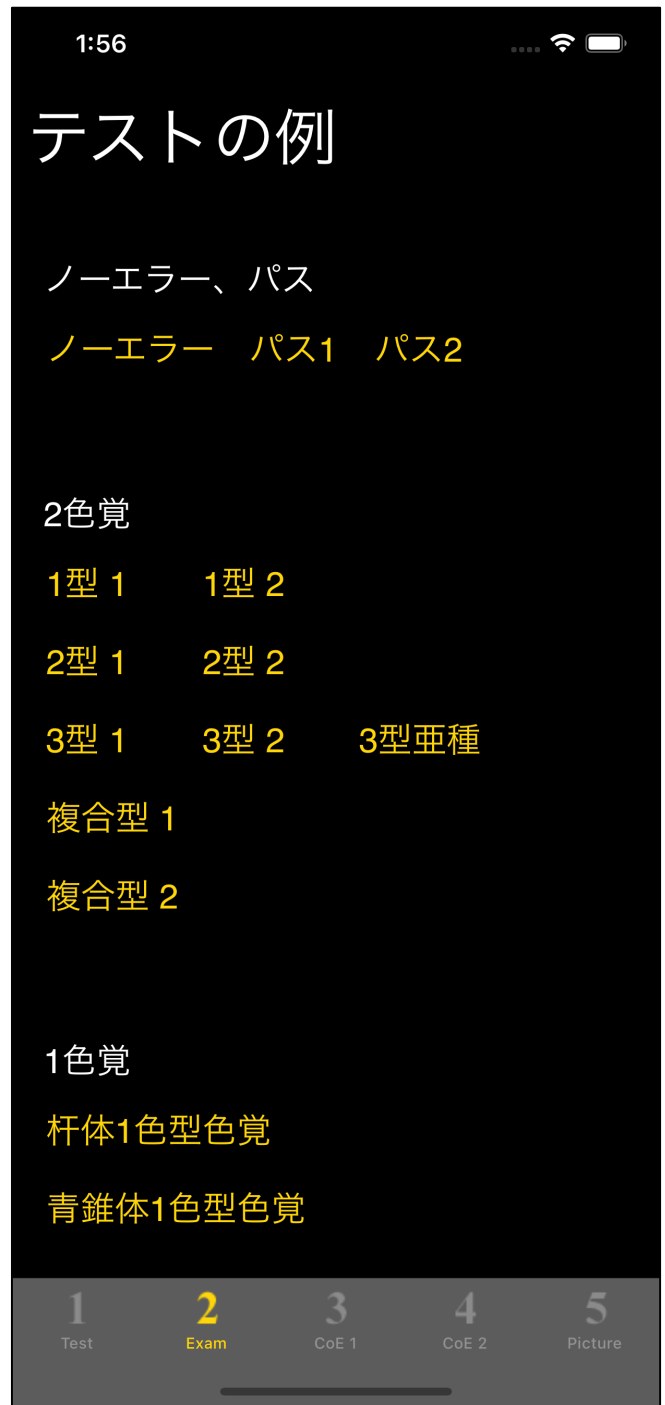
現在、

1. パネル D-15 テスト そのもの
2. パネル D-15 テストの結果の例
3. カラー-sliderによる色値の表示
4. マス目状の色表による色値の表示
5. 色相環による色値の表示
6. 画像の LMS 変換
7. 画像のセロハン処理
8. 画像の色角度回転
9. 画像のピクセルピッカー

というような機能を持たせています。

これらの機能は、おおよそ、タブ単位で実装しています。

タブは、以下のように、5枚あります。



10:40



色の例

RGB カラー 슬라이ダー

算術 1型 2型 3型

HSV カラー 슬라이더

算術 1型 2型 3型

マス目

		黄		
	黄赤		緑黄	
赤				緑
赤紫				水緑
紫			水色	
	紫青	青水		

1

Test

2

Exam

3

CoE 1

4

CoE 2

5

Picture

10:51



色の例 2

色相環

HSV 色相環

RGB 色相環

6色 色相環

12色 色相環

ISCC

ISCC vivid

ISCC brilliant

マンセルカラー

マンセル v5 (10色)

1

Test

2

Exam

3

CoE 1

4

CoE 2

5

Picture

10:56



画像

写真

LMS 変換

ゼロハン

角回転

ピッカー

カメラ入力

LMS 変換

ゼロハン

角回転

1

Test

2

Exam

3

CoE 1

4

CoE 2

5

Picture

FM パネル D-15 テストについて

左端に置かれた、“パイロットキャップ”に近い色から順に、15個のキャップを並べていきます。

大ざっぱには、

青 緑 黄 赤 紫

という順で並べていきます。

並べた結果は、

1. ノーエラー (no error)
2. パス (pass)
3. エラー (error)

の3つに分類されます。

1. ノーエラー (no error)、2. パス (pass) と分類された場合、一般的には、問題なしと判定されます。

3. エラー (error) の場合は、何らかの強度な色覚異常があると判定されます。

FM パネル D-15 テストの結果からわかることは、

何らかの強度な色覚異常があるか、否か。

であると言われていきます。

FM パネル D-15 テストでは、軽度、中程度の色覚異常はわからないと言われていきます。

1. ノーエラー (no error) ... 問題なし
2. パス (pass) ... 軽度、あるいは中程度の色覚異常
3. エラー (error) ... 強度な色覚異常

こうではありません。

2. パス (pass) は、問題なしと判定されます。

軽度、あるいは中程度の色覚異常は、FM パネル D-15 テストではわからない。
ということに、ご注意ください。

一般に、パネル D-15 テストは、1回、あるいは、2回行うことが多いです。

パネル D-15 テストの結果を記録する用紙は、通常、2回分を記録する用紙です。

1回目が、ノーエラーなら、1回です。

1回目が、パス、エラーなら、2回目を行います。

このソフトウェアは、この回数、この手順には、対応していません。